

令和7年度第1回新居浜市総合文化施設及び美術館協議会会議録

- 1 日時 令和7年6月24日（火）16：00～17：00
- 2 場所 あかがねミュージアム 創作スペース
- 3 出席者 出席委員（8名）
岡 俊守 神野 恭多 國久保 浩二 神野 祐一
篠原 雅士 吉田 達哉 合田 定子 黒光 恵
欠席委員（7名）
矢野 雅士 永井 泰子 徳田 明仁 和田 英夫
坂上 公三
事務局
美術館 館長 松原 龍一
企画部文化スポーツ局長 守谷 典隆
文化振興課 課長 中沢 美由紀
美術館 学芸係長 鎌田 真美

あかがねミュージアム運営グループ

代表 ハートネットワーク 代表取締役社長 伊藤 直人
経営統括者 渡邊 由佳
施設統括責任者 伊藤 周平

- 4 傍聴者 1名
- 5 次第 議事
 - (1) 令和7年度新居浜市総合文化施設事業計画と進捗状況
 - (2) 令和7年度新居浜市美術館事業計画と進捗状況
 - (3) 令和8年度新居浜市総合文化施設事業計画
 - (4) 令和8年度新居浜市美術館事業計画
 - (5) その他

事務局	<p>本日はご多忙にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまより、令和7年度第1回新居浜市総合文化施設及び美術館協議会を開催いたします。</p> <p>また、この会は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席を設けております。</p> <p>委員の出席状況ですが、委員定数15名うち、8名のご出席をいただいており、過半数に達しておりますので、新居浜市総合文化施設及び美術館協議会条例第6条の規定によりまして、この協議会は成立しておりますことをご報告いたします。</p>
-----	--

	それでは、これから議事進行につきましては、会長よろしくお願ひいたします。
会長	令和7年度新居浜市総合文化施設事業計画と進捗状況、令和7年度新居浜市美術館事業計画と進捗状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>まず、入場者の推移ですが、開館以来の累計入場者は1,799,741人となっています。資料の青い棒グラフは、施設全体ですので美術館を含んだ形になっています。入場者が増えるということは、それだけ市民の皆様、近隣の方々に、この美術館が認知され、認められ、愛されるということですので、今後も集客を上げていきたいと思っています。</p> <p>美術館は有料入場者と無料入場者があるのですが、有料率が高い方が経営的には非常にいいのですが、新居浜市美術館は、有料率が高いのでこの辺を維持していくと経営のほうにもいい効果が出ると思っています。わりと大きな美術館では、国立の博物館、民間もそうですが、招待券をたくさん出したりするのでもうしても有料率が下がります。そのかわり沢山人が来るので、何となく収支がとれるようになるのですが、それよりは有料率が高くて、たとえば20万人入らなかつたら採算が取れない展覧会でも、有料率が高くて10万人で採算とれるといいますか、そういう計算とともにしながら運営していくのが大事なことかなと思っています。</p> <p>続きまして、令和7年度事業進捗状況です。これもまだ始まって2か月少しなので、たとえば春はハピフェス2025、こちらを5月3日に実施して、収入は71万2000円で、経費が68万ということですので、ある程度の利益が出たと思っています。そのほか、未実施のあかがね寄席などありますが年度末にはお示しできると思います。</p> <p>次のページ以降も同様に、何を実施するかということと、主催事業を示してありますのでご覧ください。また、にいはまギャラリーの事業も記載しています。太鼓台に関する展示、にいはまビジターセンター、あかがね成果発表会などを開催予定です。</p> <p>4ページ目をご覧ください。太鼓台ミュージアムということで、太鼓台は新居浜市にとっては非常に重要なもので、私も万博でのイベントを見に行ったのですが、非常に素晴らしいものだと思いました。この太鼓台が間近で見られるというので大変すばらしいと思っています。現在は、口屋太鼓台ですが、これからも入れ替えながらいろいろな太鼓台を展示します。</p> <p>それからアート工房ですが、計画して実際に実行しようということをここにあげています。</p> <p>ページをめくっていただいて5ページ目ですが、屋内ステージカフェイベントということで、屋内ステージというものはここの円形になっているステージで</p>

すれども、お正月のイベントとかカフェイベントですね、そういうものを計画していくまして、その辺の事業収入・事業経費も後ほど、これはお正月にならないと出ないと思いますけども、実施内容をここにあげさせていただきます。

その他につきましては、周辺出張事業やあかがねミュージアムのイベントを記載しています。

総合文化施設事業の入場者見込みは6万8710人、事業収入は今のところ71万2000円、事業経費が93万円で、これは一見赤字に見えるかもしれないのですが、これからどんどんいろんなことをやっていくことによって、黒字化していくものと思っております。

それから6ページですが、多目的ホールの貸館事業です。こう見ていただくとたくさんの方に借りていただけています。最近はやっぱり国立の美術館、国立の博物館も、県立もそうですけど、だんだんこの貸館、貸会場についてはちょっと高くするように、高めになっておりますので、そこから見ると、非常に良心的な価格であるなと思いました。皆様方がどういう風に、これでも高いとおっしゃる方もいらっしゃると思いますし、それはまたご意見を伺えればと思います。貸館の状況は、年度末にご報告したいと思っています。

美術館の事業につきまして、上のほうに11月17日から3月1日までの、「ときめきのボタンたち 加藤コレクションから」というのが書いてあるですが、ここは実はその新居浜の美術というので、コレクション展示2025になっていたのを「ときめきのボタンたち 加藤コレクションから」という展覧会に変えさせていただきたいと思っております。この展覧会は、チラシを見ていただくと分かるように、岡山県立美術館の方で開催した展覧会で、岡山県立美術館の方でも人気を博した展覧会です。なぜこれが面白いかというと、ボタンの歴史を見せるわけではなくて、多様なボタンの色々な素材であったりとか、装飾であったりとか、素材と形、装飾っていう、いわゆるボタンを1つの芸術品として見ていこうっていうそういう展覧会ですね。この展覧会をたまたまこの時期であれば巡回が可能ですので、コレクション展示2025に変わって、させていただきたいと思っていましてご承認いただければと思います。

この展覧会、本当に面白い展覧会ですので、見ていただければと思うのですが、ボタンと言ってもものすごい多様にあって、世界中のいろんなボタンがあります。薩摩焼のボタン、明治の頃の物ですけれど、多分輸出されたものだと思うのですが、非常に重要なものです。そういうものも含めて、展示できると思いますので、これはぜひ、変更をご承認いただければと思っております。

それから今回の住友洋画コレクション。フランスと日本近代絵画展です。この展覧会ですが、大変いい展覧会でして、5,000人の見込み数ということで開催しましたが、残念ながら4,672人っていうことで、見込みには届きませんでした。事業収入としては340万です。入場料収入がありまして、事業経費は1,511

万ということで、赤字と見られるのか、どう見られるかということはいろいろあるのですが、この事業経費というのは多分もう少し増えると思のですが、今現在で把握できているのがこちらの額になっています。

この展覧会は本当にこれだけのものがなかなか貸していただけるとか、それから揃うというのはなかなか無いので、大変貴重な展覧会だったのですが、今後もうちょっと周知・広報を、どうしたらもっと集客が得られるか考えたいと思っています。本来なら3万人ぐらい来てもいいような展覧会ですので、広報に力を入れてもう少し増えるようにと思っています。

その他、美術館の事業では、その新居浜市美術館開館10周年記念、わけあって絶滅しました展。これはチラシを見ていただいたらわかるように、純粋な美術展というよりは、どちらかというと科学をメインにした、その科学と造形というような、そういう形での展覧会でして、科学的なこととか文化とか歴史とかというのを勉強していただければと思っています。この展覧会は聞くところによりますと、富山県の氷見市のほうで人口4万人の町で、4万3000人来たということです。近隣からもたくさん来たということだと思うのですが、ここのこの展覧会も、この東予地区の皆様を始め、松山からもたくさん見に来ていただければと思っています。4万人入るかどうかはちょっとやってみないと分からないのですが、そういうことを期待して頑張りたいと思っています。

それから石山直司展、ルーヴル美術館の銅版画展ということで2つの展覧会を一緒に開催します。混ぜこぜするわけではなくて、1つの部屋では石山直司展、もう1つの部屋ではルーヴル美術館の銅版画展ということで、2つの展覧会を一緒に開催することになっています。見込み数2,000人という風になっているのですが、これが2,000人を超えるのか下回るのかはやってみないと分かりませんので、これもまた年度末には報告できるかと思います。

それから冬休みに合わせたサンリオ展ニッポンのカワイイ文化60年史ですね。これもお子様むけというか、冬休みに見ていただくところで、サンリオのキャラクター、ハローキティとかいろいろあるのですが、非常に世界的に有名になりました、この展覧会は、数年前に京都市の京セラ美術館でも見ましたし、北海道立近代美術館でも見まして、その時はものすごい人がたくさん来ておりました。とにかくキティちゃんですが、そのキティちゃんがこんなに人気があったのはすごく驚きました。この展覧会も、新居浜だけではなく、東予地区とか松山を含めて、たくさん来ていただければと思っている展覧会です。見込みを9,000人としていますけども、もっと来るとは思っているのですが、それもまた年度末になってからご報告させていただきます。

また、新居浜の美術コレクション展については、先ほど申し上げました、ときめきのボタンの展覧会に変更をご承知いただければと思っています。

その他、新居浜市美術館主催展覧会ということで、見込み人数と今のところの事業収入、事業経費になっていますが、これも年度末に改めて報告させてい

ただきたいと思います。

それから、新居浜市、新居浜市教育委員会主催、共催事業っていうのがありますて、にいはま春の市民文化祭美術の部、第10回趣味の作品あかがねミュージアム展、それから第75回新居浜市美術展覧会、第74回愛媛県展新居浜移動展、第50回東予地区高等学校美術・工芸、書道展、第45回新居浜こども美術展、それから高齢者趣味の作品展を開催するということを書いてあります。にいはま春の市民文化祭、すでに終わりましたけれども、たくさんの方が来られて、出品もたくさんされていまして、初めて見させていただいたんですけども、非常に魅力的な作品がたくさん出ておりました。皆さん、すごく美術に関心が強いんだなという風に思いました。以上が総合文化施設と美術館のご説明になります。

会長

ありがとうございます。何かご意見等ございましたら、いただけたらと思うのですが。皆様いかがですか。特にありませんか？

(意見無し)

会長

そうしましたら、この件に関しまして、先ほど事務局からの話がありましたように、1月17日から3月1日の、「ときめきのボタンたち、加藤コレクション」が新たに変更になって加わったという事を皆さんご承知していただいてよろしいでしょうか。

(意見無し)

会長

はい。そのような形でさせていただきます。ありがとうございます。続きまして、令和8年度新居浜市総合文化施設の事業計画をお願いします。

事務局

A4の資料、1枚目をご覧ください。令和8年度事業につきましては、今決まっているもの、そしてこういったものを実施したいというものを入れさせていただいており、皆様に、ご意見を頂戴したいと思います。

まず、多目的ホールにつきましては、新居浜市にゆかりのある作品を上演したいと考えております。また、令和7年度にアーティストインレジデンスあかがね座ということで、あかがねミュージアムを拠点に演劇の力で市民の皆さんの幸福の契機づくりを目指すプロジェクトを開催するのですが、同じように令和8年もこのアーティストインレジデンスを開催したいと考えております。

続きまして、太鼓台ミュージアムにつきましては、こちらは毎年太鼓台ですね、市内にある54台ある太鼓台、年間3回から4回入れ替えを行っておりまして

、太鼓祭り期間外でも市民、そして観光客に楽しんでいただけるように実際に市内で運行している太鼓台を実物展示しているのですが、令和8年度も年間3回から4回展示の方を行いたいと考えております。

続きまして、こちら今皆様がいる創作スペースですけれども、初心者向けの文化講座、そして制作活動を始めるきっかけの場として、あかがね教室につきまして、令和8年度も引き続き色々な講座を開催したいと考えております。

その他には美術館の展覧会に関連したワークショップということで、そういった、令和8年に開催する展覧会に合わせた関連のワークショップも行いたいと考えております。

また、毎年夏休みに行っております、ジュニア学芸員という事業ですが、子どもたちに、あかがねミュージアムの仕事を体験できるような企画を、令和8年度も引き続き開催させていただきますと思います。

貸館事業につきまして、多目的ホールは、現在まだ募集が始まったばかりです。今のところ入学式などの式典やダンスの発表会、3件お申し込みが入っております。

総合文化施設事業令和8年度の事業計画につきまして以上でございます。

会長

ありがとうございます。では、この8年度の事業計画につきまして何かご質問ございませんか？

(意見無し)

会長

続いて、令和8年度新居浜市美術館の事業計画をお願いします。

(令和8年度新居浜市美術館事業計画資料に基づいて説明)

会長

はい、ありがとうございます。就任なさってからの短期間で色々と尽力していただき、本当にご苦労様でした。皆さん、この計画でご賛同いただけますでしょうか？

(意見無し)

会長

はい。是非これでチャレンジしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。時間も参りましたし、何か最後に意見があればお願いします。

神野委員

今回初めてなので自己紹介をいたします。神野恭多と申します。よろしくお願いします。時間がないので端的に2点だけ伺っていいですか？

学芸員さんが指定管理者の雇い入れになったということと、館長の指揮命令

権が今どうなっているのかというのを端的にお聞きしたいというのが1点とですね、あかがねミュージアムソータークラブの活動について、非常に素晴らしい会があるので、最近なかなか目にする機会が無いので、何か展開する予定などがあるか、よろしくお願ひします。

事務局 まず1点目、学芸員のところは私の方からご説明させていただきます。指定管理者側で今回学芸員を採用しています。当然、市の方にも学芸員がいます。館長につきましては、指定管理者の学芸員の指導と、市の方でも参与という位置づけになっていますので、どちらの方も館長にご助言、ご指導をいただくようになっております。

サポータークラブにつきまして、今年度も事業を色々させていただいて、クラブの会員の皆様に喜んでいただくようなものを開催したいと思っております。例えば10月には新居浜市出身の作家・演出家の鴻上尚史さんにお越しいただいて、多目的ホールでワークショップをしていただくほか、サポータークラブの会員と一緒にになって中学校に訪問して、鴻上さんに講演をいただくようなものを協力してやっていきたいと考えております。あとはクラブの会員さんが、色々な文化活動をしている方が多くいらっしゃるのですが、予定では12月に皆さんの活動しているものが発表できる場を設けたいと計画をしています。

会長 はい。ありがとうございます。はい。他に何かありませんか？
(意見無し)

ありがとうございました。以上を持ちまして令和7年度第1回の新居浜市総合文化施設及び美術館協議会を終了させていただきます。